パートナー
静岡市清水市民活動センター情報誌　2021年 12月1日　Vol.112
市民活動はまちの未来を創造する

発行：静岡市清水市民活動センター
指定管理者：NPO法人NPOサポート・しみず
〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1
TEL：054-340-1010
fax：054-351-5530
mail：mail@shimizu-s-center.org
HP：http://shimizu-s-center.org

市民活動センター15周年によせて

静岡市清水市民活動センター　センター長　磯谷千代美
（指定管理者《特活》NPOサポート・しみず　理事長）

静岡市清水市民活動センター開設15周年にあたり、これまでご支援・ご協力をいただいた多くのみなさまに心からお礼申し上げます。

この間私たちはセンター運営の中で、団体への情報発信や相談対応、講座事業などを通じ、それぞれの団体のステージに合わせたサポートをおこない、一貫して団体の組織基盤強化の重要性を謳ってきました。

地域課題はますます複雑化・深刻化し、子どもの貧困や生活困窮者の増加、人口減少、超高齢化社会、都市と地方の格差、など枚挙に暇がありません。

コロナ禍により市民活動団体も未だ制約の中での活動を強いられていますが、多くの団体がそれぞれのミッションに基づき困難な中でも着実に歩みを進めています。

今後も、行政では即対応できない問題に敏速に取り組むことができる市民活動が担う役割は、さらに重要なものとなっていきます。利用登録団体初め、各セクターのみなさま、担当課と力を合わせ、市民活動の一層の活性化をはかり、静岡を元気にしていきたいと思います。

港町から発信する未来へのメッセージ

今年こそは集まって15周年の成果を分かち合いたい、そんな思いから実行委員会を立上げ６月から準備を進めてきました。自由に活動ができなかった期間を振り返り、つながりを強めながら再スタートしようという思いから決定したテーマは、「みんなでつくる市民活動」。

一度に大勢で集まることが難しいなら毎日少しずつ参加してもらえる企画を、という実行委員の発案で、来館するみなさんが参加して“しみずダイバーシティーを描く”ライブペイントを約１カ月かけておこないました。文字通り多種多様な未来への願いが描かれ、貼り付けられ、関わった人それぞれの思いが伝わってきます。

また、11月14日のメインイベント「ダイアログカフェ」では、ホストを中心にテーブルを囲み活発な意見交換がおこなわれ、エンディングは１人１人の未来宣言を発表。それぞれの団体の「未来」に向け前向きな言葉が続きました。

階段展示～未来（あした）へバトンをつなごう！

自主プロジェクトにより自治基本条例の草案作りにも取り組みました。

現センターの前身ともいえるNPO・ボランティア市民センター

市民活動センター15年を振り返る階段壁面

市民活動の拠点が清水になかった時代を知る団
世代には今までの歩みをはじめて知る機会となり

市民活動FESTA2021

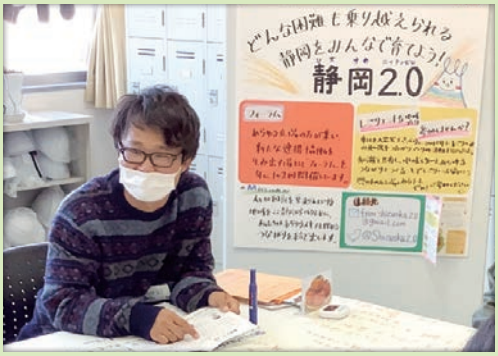
みなとダイアログカフェ

NPO法人 ゆうゆう舎
『十人十色、共に生き働き、地域で生きる』

ビッグイシュー静岡読者会
『ビッグイシューの購読で社会を変えよう』

一般社団法人 グリ
『未来につなが

Liberty
『環境教育ボードゲームの企画・販売』



静岡2.0
『清水のコミュニティレジリエンスを高めるために』

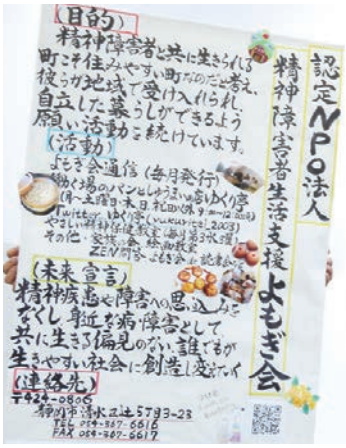
NPO法人 か
『子どもたちの未来に向

の展示

団体は感慨を以て振り返り、若い
りました。

パネル展示

立ち上げたばかりの団体や初出展の団体も多数参加し、42団体の活動紹介パネルが集まりました。どれも思いの詰まった力作ぞろいでしたが、３団体の受賞が決まりました。



NPO法人駿河裂織倶楽部
「蒲原から文化を、歴史を発信しま賞」

清水海洋少年団
「かわいいお魚いっぱいで賞」

認定NPO法人
障害者生活支援よもぎ会
「誰もが生きやすい社会にしま賞」

みんなで作る市民活動

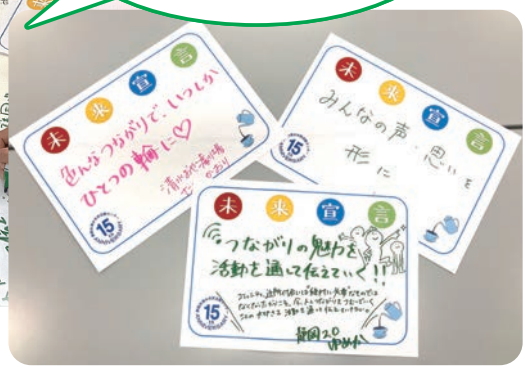
～各団体が想い描く未来～

ーンパークあさはた
る緑のあそび場』

っぱらぱ編集室
けて私たちができること』

『未来に向けてできること』
『大切だと感じたこと』
を書きました。

副実行委員長
静岡2.0　斉藤夢果さん



カフェのようなくつろいだ雰囲気の中で、参加者が自由に語り合うことを楽しむために企画したこの「みなとダイアログカフェ」。ホスト役の団体の活動について話を聞き、自らの気づきを書きこんでいきます。

「知らなかった団体と出会うことができた」、「参加したことで元気をもらった」といった嬉しい感想を聞くことができました。

知り合った団体同士が一緒にイベントをするために話し合いをするなど、「未来」に向けて動き出そうとする姿もあり、あらためて直接会話することでエネルギーが生まれることがわかりました。

清水市民活動センターは、市民活動に携わる皆さんの想いをカタチにするために、これからもその拠点となりサポートしていきます。

今回の事業実施にあたり、巴包装株式会社様より駐車場の無償提供のご協力を頂きました。
紙面をもちましてご報告し、お礼を申し上げます。

NPOワンポイント 所轄庁宛て提出書類の押印廃止と「定款」

国の「規制改革実施計画」（令和２年７月17日閣議決定）により、令和３年４月１日から特定非営利活動法人に関する申請・届出書類についても、原則押印が不要になりました。

設立時に提出する「就任承諾及び誓約書」・「確認書」・「設立趣旨書」も押印は必要ありません。

ただし、社員総会や理事会の議事録の末尾の議事録署名人の押印については、法人の定款の定めるところによります。

例『議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人２人以上が署名（記名）押印しなければならない。』とされていれば、押印は必要です。

議事録の押印を廃止する場合は、まず総会において定款の『署名（記名）押印』の記載を『署名（記名）』に変更し、所轄庁の認証を受けてからになります。

※現在静岡市が公開しているNPO法人のモデル定款では、総会、理事会の議事録に関して「押印」の文言は記載されていません。

センター主催講座のお知らせ

明日からはじめる資金調達

「来年度以降の活動資金について困っている・悩んでいる」

「会費、寄付、助成金、補助金など、いろいろ知りたい」

「どんな方法で資金を集めればいいのかわからない」

など、多くの団体が課題に感じているお金の問題。その解決のヒントを見つけてください。

日　時　１月21日（金）19：00～21：00

講　師　木下　聡さん
（日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー）

定　員　15名（申込順）

参加費　無　料

スッキリ解決！決算書作成講座

決算書類を段取りよく作る方法を学びます。特に、所轄庁を通じて決算書類を含めた事業報告書が内閣府ポータルサイトで公開されるＮＰＯ法人は、早めの準備が必要です。

また、わかりやすい決算書類を作るのは団体にとっても大切なことです。

初めて決算書類を作成する担当者、監事の方もぜひご参加ください。

※任意団体の方も参加できます。

日　時　２月５日（土）13：30～16：30

講　師　税理士　中尾さゆりさん
（NPO法人ボランタリーネイバーズ理事長）

定　員　10団体（申込順）

参加費　300円（資料代）

しみず・ゴレなぁに？ その48

町家をベースに西洋風の改築が施された蒲原の旧五十嵐邸には、様々な時代を彷彿させる展示品が並んでいます。

その中の一つがこちら。木地の上に漆を塗り重ねて文様を浮き出させるという技法による工芸品です。

起源は天保時代に蒲原に呼び寄せられた職人に始まると言われており、明治になって文様の特徴から古代塗と呼ばれるようになりました。大量に生産されていた時期もありましたが、第二次大戦後は作り手もいなくなり、今では幻の工芸品と言われています。

現在は地元「蒲原古代塗工房」のみなさんがその保存、復元、また作品の制作に取り組んでおり、展示会や子どもを対象にした教室などの企画を通じて地域文化の伝承に努めています。